



5～6 か月頃のおくち



おくちの中を見てください

生まれたばかり	くちびる	舌	上あご
↓	半開き	動かさない	中央に丸い凹みがある ※吸啜窩(きゅうてつか)
5～6か月	閉じるようになる	前後に動く	ドーム形になり、お口の中が広がる

・赤ちゃんのおくちは、少しずつ『吸う』ことから『食べる』ことに適した形に変化していきます。

おくちを閉じて『ゴックン』と飲み込むことができるようになります。



おくちの中を触ってみましょう

・赤ちゃんの頬⇒くちびる⇒歯ぐきの順番で外側から順に触ってみます。

触られることに慣れると、歯が生えたときにおくちのお手入れを行いやすくなります。



『食べる』ことの練習

・この時期の赤ちゃんが指しゃぶりやおもちゃをなめることは『食べる』ことの大切な準備です。

経験と練習を積み重ねることによって、少しずつ上手に『食べる』ことができるようになっていきます。



スプーンの使い方

・スプーンを下唇にチョンチョンと合図してのせ、唇ではさみこむまで待ち、食べ物を取り込んだら正面からまっすぐ引き抜きます。



初めて使うスプーンはボウルの部分が浅めのものがおすすめです。上半身は、やや後ろに傾けると飲み込みやすいです。